

<KHJ町田家族会 第38回月例会>

当事者から見た ひきこもり親子のコミュニケーション不全

講師 ぼそっと池井多

講演と公開対話

今回の月例会は、自身や内外のひきこもり当事者の声を社会に発信する活動をつづけておられる講師をお迎えします。第一部では、家族間の対話の重要性が言われるなかで、親子のコミュニケーションの諸相がそもそも当事者の側からはどのようにとらえられているか、ご自身の経験や事例からお話していただきます。後半の第二部は、参加者代表と講師による対話（対論）を企画しています。親と子それぞれの立場から思いや考えを出し合い、また他の参加者のみなさんからも感想をいただいて認識を共有します。

【日 時】2019年3月23日（土）13：30～16：30（受付開始 13：15）

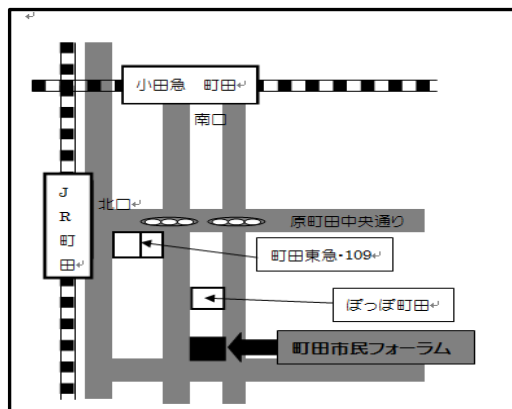
【会 場】町田市民フォーラム4階 講習室

【定 員】52名

【参加費】会員 500円 / 一家族
非会員（一般）1,000円 / 一家族
ひきこもり当事者は無料

【申込み】不要です。直接会場にお越しください

【問合せ】KHJ町田家族会（上野）042(810)3553



【講師プロフィール】



ぼそっと池井多（いけいだ） 「ひきこもり」という語が社会に存在しなかった 1980年代からひきこもり始め、その後、形態を変えながら断続的に 30 余年ひきこもる。当事者の生の声を当事者たちの手で社会へ発信する「VOSOT（ぼそっとプロジェクト）」、ひきこもりの高齢化を考える「ひ老会」、「患者の立場から精神医療を考える会」などを主宰。ひきこもり当事者発信メディア「HIKIPOS（ひきポス）」編集・執筆。

【町田家族会 今後の予定】

◆親のもうひとつの居場所「やわらぎ」

4月12日（金）14:00～16:30 町田市民フォーラム<和室1>

◆第39回月例会

4月27日（土）13:30～16:30 町田市民フォーラム<第2学習室>